

なんぽろ

第 96 号

社協だより

編集発行

社会福祉法人
南幌町社会福祉協議会



ふれあい食事交流会開催

3月5日（水）70歳以上のお一人暮らしの方を対象に「ふれあい食事交流会」を開催し、関係者を含めた43名で江別市の「超ビッグとっぴ〜」に出掛けてきました。3月の食事交流会は回転寿司が恒例となっており、楽しみに待っていて下さる方も多くいらっしゃいます。この日もお寿司は勿論のこと、プリンやパイなどデザートまでしっかり召し上がり、「普段はこんなに食べないのよ」「今日の夕飯はいいね」と積み上げたお皿を見ながら皆さん笑顔で話されていました。また来年もご参加をお待ちしております。

この社協だよりは 赤い羽根共同募金の助成を受けて 刊行しています

健やかに安心して暮らしていける地域づくりを目指して

南幌町社会福祉協議会 会長 小友 征之



厳しい冬が過ぎ、北海道の各地からやっと桜の開花だよりが聞こえてきました。

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき全ての都道府県及び市町村に設置され、地域住民や社会福祉関係者の参加によって、地域の福祉活動の推進役としての役割を担い、さまざまな福祉活動を行っている社会福祉法人です。

南幌町社会福祉協議会は、町民の皆さんのご理解とご支援をいただき、地域福祉活動の拠点として行政をはじめ関係機関や近隣社協との連携を図り、健やかに安心して暮らしていける地域社会づくりを目指して、「地域コミュニティー活動としてのサロン事業“ひだまりサロン”」や「ボランティア活動の推進と広く町民への広報活動としての“ボランティアフェスタなんぼろ”の開催」「在宅福祉サービス事業としての、移送サービスや配食サービスの実施」「相談活動としての無料法律相談会の開催」など各種福祉事業に取り組んでいます。

併せて社協は、南幌町における「赤い羽根共同募金」や「歳末たすけあい募金」及び「災害義援金」の受け入れをする共同募金委員会を兼ねています。平成25年度も皆様方のあたたかい多くの善意によりまして目標額を達成することができました。皆さんにいただいた募金は、地元のボランティア活動の振興や福祉施設や福祉教育への援助等の貴重な財源として活用されています。

少子高齢化や経済情勢の変化、家庭の様相も変化するなか、家庭状況や雇用状況の厳しさ等により、地域における福祉や生活の課題は深刻さが増しています。平成26年度も、地域の今日的な課題をしっかりと受け止め、高齢者や障がい者が共に支え合い、誰もが健やかに安心して暮らしていける地域社会づくりに努力して参りますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

1 地域におけるコミュニティー活動の推進

平成26年度事業計画

平成20年度より「あいくる」で実施しておりますサロン事業「ひだまりサロン」は、「誰でも・気軽に・無理なく・楽しく・自由に」過ごせる地域のコミュニティーの場として大変好評をいただいております。今年度も幅広い世代の参加者の更なる掘り起こしを行い、地域コミュニティー活動の中心的な事業として継続実施して参ります。

更に、行政区・町内会や各種団体等で実施される様々な行事に際して、社会福祉協議会で保有している備品を無償で貸与することで、地域主体でのコミュニティー活動の推進を側面的に支援して参ります。

また、南幌町では地域の特徴や実態を把握し高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指すため、平成24年度より「高齢者生活支援地域づくり推進事業」を実施しており、社会福祉協議会としても地域の実情やニーズを把握するため引き続き協力し、地域づくりを支援して参ります。

- ① 地域コミュニティー活動の推進
- ② ひだまりサロンの各世代への定着化
- ③ 社会福祉協議会保有備品の無償貸与による地域活動の支援
- ④ 赤い羽根共同募金（歳末たすけあい義援金活動を含む）事業の展開



2 ボランティア活動の推進協力

ボランティア活動は、今日、地域福祉を推進する上で欠くことのできない活動であり、「東日本大震災」を機にますますその必要性が増しており、社会福祉協議会としても「災害ボランティア」の体制整備について求められているところです。一方で、本町におけるボランティア活動者が年々減少してきていることを踏まえ、活動に係る相談、情報提供、研修などを通じて、新たな活動者の発掘・育成等が課題となっております。

社会福祉協議会としてボランティア活動に対し人的・物的に支援・協力することにより、ボランティアを要望する側と提供する側との円滑な橋渡しが行われることが期待されています。このため、広く町民にその認識と理解を得るため、今年度も引き続き、実行委員会組織により「ボランティアフェスタ」を開催し、ボランティア活動の普及拡大が図られるように支援・協力を行うとともに、災害ボランティアの体制整備についても引き続き検討して参ります。

- ① ボランティアフェスタの開催協力
- ② ボランティア活動に対する支援・協力
- ③ ボランティア活動に対する普及拡大の実施



④ ボランティア研修事業(ボランティアスクール)の開催

⑤ 災害ボランティア体制整備に向けた検討

3 在宅福祉サービス事業の推進

町民の皆様にも少しでも必要とされる在宅サービスの提供に努め、快適な在宅生活が送れるよう、町から委託を受けた事業(移送サービス・配食サービス)や協力事業(声の広報朗読サービス)のほか、その補完事業として社会福祉協議会が独自事業として実施している福祉有償運送サービス事業(らくらくサービス)や電話サービス、施設訪問サービスについても引き続き実施し、地域住民が安心して暮らせる生活を目指すよう努めて参ります。

また、70歳以上のひとり暮らしの方を対象とした食事交流会は、外出機会の創出や仲間づくりにつながるなど大変好評を頂いておりますので、今年度も引き続き実施して参ります。

なお、足腰が不自由な方が安心して外出できるように、今年度も歳末たすけあい義援金を活用し「福祉杖給付事業」として、在宅生活の支援を図って参ります。

● 受託事業

① 移送サービス事業の実施 ② 配食サービス事業の実施

● 協力事業

① 声の広報朗読サービス事業の実施

● 独自事業

① 福祉有償運送サービス事業(らくらくサービス)の実施

② 電話サービス・訪問サービス事業の実施

③ ひとり暮らし高齢者食事交流会(ふれあい食事交流会)の開催

④ 福祉杖給付事業の実施



4 高齢者福祉活動の推進

高齢者が健やかに、そして生きがいのある生活を送ることが出来るように老人クラブの諸活動を支援するとともに、南幌町保健福祉課及び南幌町高齢者事業団との連携協力により引き続き高齢者福祉活動の充実が図られるよう支援して参ります。

① 軽スポーツ大会開催への協力 ② 世代間交流に対する支援・協力



5 福祉教育活動の推進

赤い羽根共同募金を活用し、ボランティア活動に取り組む小・中学校及び高校に対して助成をしていくことで、少しずつではありますが、福祉教育活動が充実されてきております。少子化の影響に伴い児童生徒数は減少しておりますが、「共に支え合う福祉」を目指し、今後においても様々な福祉教育の機会を設けて頂くために引き続き助成するとともに、将来を担う人材の育成として、職場体験学習についても積極的に受け入れて参ります。

また、南幌町子ども会育成連絡協議会の活動についても、「たくみ祭り」による世代間交流を通じ、福祉教育活動の充実が図られるよう、今年度も引き続き助成して参ります。

① ボランティア育成校(小・中学校、高校)による実践活動への支援・協力

② 子ども会育成連絡協議会への助成 ③ 職場体験学習の受け入れ



6 各福祉団体への活動支援

今年度も引き続き町内各福祉団体への支援・協力を行うほか、新たな事業活動に対する支援や、普及のために支援を必要としている活動団体に対し積極的な協力や支援を続け、組織活動の充実が図られるよう努めて参ります。

① 各福祉団体の活動に伴う事業協力・支援 ② 団体の交流活動への連絡調整

7 低所得者援護事業の実施

低迷化する経済状況の中、突然の解雇や大幅な収入減などにより、生活に困窮する世帯から生活資金に関する相談件数が年々増加している現状にあります。そのような中、相談内容は多岐に渡り法律的な見地が求められる事例が増えていることから、昨年9月より近隣4町(南幌・栗山・由仁・長沼)共催による「無料法律相談会」を開設し、

相談体制の充実を図って参りました。今年度も引き続き生活不安の解決に向け、実施して参ります。また、北海道社会福祉協議会が行う「生活福祉資金貸付事業」や南幌町社会福祉協議会が行う「愛情銀行生活資金貸付事業」についても、引き続き相談支援体制の充実を図って参ります。

なお、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯が年々増加していることから、民生委員との連携・協力のもと歳末たすけあい義援金を活用した支援事業を引き続き実施して参ります。

- ① 生活福祉資金貸付事業の協力・支援
- ② 愛情銀行生活資金貸付事業の実施
- ③ 無料法律相談会の実施
- ④ 歳末たすけあい見舞金・見舞品配付事業の実施

8 町内社会福祉法人との連携強化

町内にある3つの社会福祉法人「南幌福祉会」「南幌苑」「えぼっく」との連絡調整を緊密に行うなど、現状と課題について十分な情報交換を行い、福祉支援の充実に向け、引き続き連携強化を図って参ります。

9 効率的・効果的な事業の推進・検討

社会福祉法人は、その取り巻く社会経済状況の変化を受け一層効率的な法人経営が求められており、また、経営実態をより正確に反映した形で住民や寄附者へ説明する責任があることから、平成27年4月1日からは社会福祉法人が行う全ての事業は「新会計基準」に基づく会計処理に移行することになります。よって、新会計基準への円滑な移行に向けて、今年度中に会計システム・経理規程等の整備を行い、適正な会計処理が可能となるよう準備を進めて参ります。

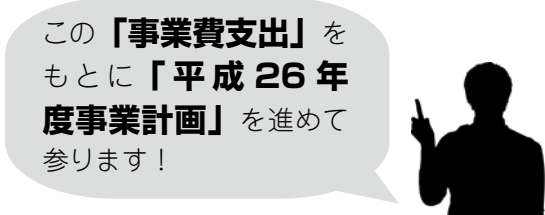
また、北海道社会福祉協議会が市町村社協へ業務委託を進めている、高齢者や障がい者の権利擁護に係る「日常生活自立支援事業」については、本町のような小規模の社会福祉協議会では単独で実施することが困難であることから、近隣町の社会福祉協議会と連携・協議を行い、検討を進めて参ります。今後も単独で事業化することが難しい取り組みについては、近隣町の社会福祉協議会と連携を図り、効率的・効果的な事業運営に向けて検討を行って参ります。

- ① 新会計基準に向けての移行準備【新規】
- ② 日常生活自立支援事業の業務委託に向けた検討【新規】
- ③ 近隣町社協と効率的・効果的な事業運営に向けた検討

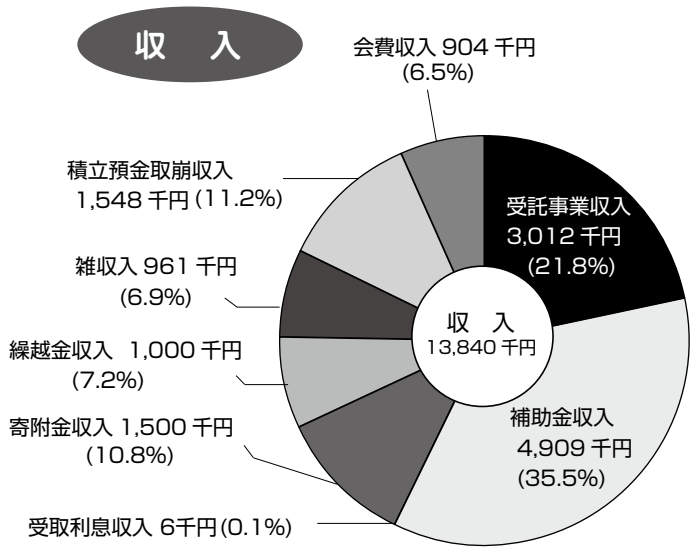
10 啓発活動の強化

町民の皆様になお一層のご理解とご協力をいただけるよう、「社協だより」の紙面の充実を図り、よりわかりやすい活動内容の周知及び情報発信を引き続き行って参ります。

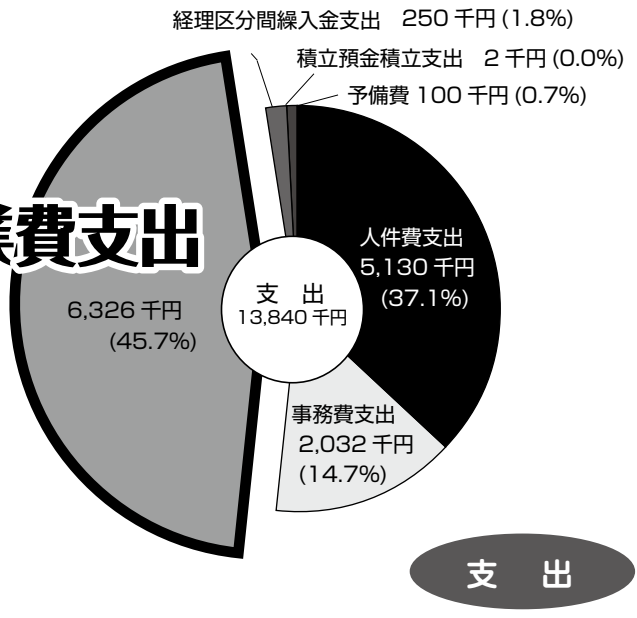
- ① 社協だよりの発行（年3回 5月・10月・2月／10ページ）



平成 26 年度 南幌町社会福祉協議会 一般会計予算状況



事業費支出



支出

平成25年度 社協賛助会員

賛助会費を納入し、社会福祉事業を支えて下さった会員の方々です。

個人

50音順 敬称略

青木 茂雄	大見 義一	川村 孝平	小林 洋子	白戸 忠男	津田 静子	藤田 蓉子	明道 静香
有井きみ子	岡部 洋幸	河村 茂	佐藤 正一	菅原 文子	中鉢須美子	星 潤子	三好富士夫
安藤 一雄	小川 澄雄	菊田 幸子	佐藤 純子	杉下 玲子	中山 光子	本間 彰	村上富士雄
家塚 雅人	小友 征之	菊田林一郎	佐藤 妙子	鈴木與四遠	鍋山ミツ子	本間 秀正	森 昇
五十嵐利治	小野塚大蔵	北瀬 善吉	佐藤 孝子	瀬川サダ子	成田 由男	前本 教子	柳沢 咲恵
池畑 憲一	柿崎 納	北島 罔生	佐藤 勉	泉波 光男	西尾昭一郎	松坂 優	山内 彰
石井 真生	葛西 敏信	桑原 杉夫	佐藤 雄二	高波 智	西尾 浩子	松田 弘子	山形 義文
石川 康弘	柏 敏夫	國田 春男	三歩スミ子	高橋 寅雄	西股 常雄	松田 博美	山下 孝二
石川 由男	加藤 修	熊木 恵子	三歩 幸光	高山 和己	西股眞砂子	松本 等	横井 和子
磯野 薫	金子 隆文	熊木 清二	志賀浦 学	竹内 良一	袴田 利雄	松山 隆	吉田 政夫
伊藤 忠志	賀野 正雄	蔵 喜久夫	清水 一雄	竹本 嘉也	橋本 勇	眞鍋 孝夫	
岩野 博子	(故)上村 勝	小林 市男	城地 肇	田中 玲子	服部 勲	眞鍋智恵子	
内田 恵子	側瀬 敏彦	小林 勉	城宝 恵子	段坂 幸枝	服部 肇	三上 英俊	
内田寿美子	川西 哲彦	小林美智子	白倉 健一	千葉婦紗子	林 仁	味噌山 宏	
江畑 佳子	川幡 宗宏	小林 勇一	白戸サダ子	津坂 彰	藤田 タカ	宮下 五郎	

企業・団体等

- ◆ 東寿会
- ◆ 福寿会
- ◆ 柳盛会
- ◆ 卓球同好会
- ◆ 南幌町身体障害者福祉協会
- ◆ 南幌町子ども会育成連絡協議会
- ◆ 市町村職員年金者連盟南幌分会

みなさまのご賛同・ご協力ありがとうございました！



今年度も社会福祉協議会の活動を支えていただきたく、引き続き賛助会員を募集いたします。(会費：1口1,000円以上)

町民の方々により良いサービスを提供していくために、ぜひ賛助会費にご協力下さいますようお願いいたします。

「東日本大震災」の義援金の受付を終了しました(南幌町共同募金委員会)

3月31日をもって「東日本大震災」の義援金の受付を終了しました。お寄せいただいた総額**1,335,612円**の義援金は、すべて北海道共同募金会に送金終了しております。ご協力ありがとうございました。



ひだまりサロン、7歳になりました



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる場所、「ひだまりサロン」です。「あいくる」2階、おひさま一杯のお部屋に集まって、のんびり、ゆっくりした時間を過ごしませんか。7年目の今年も、まったり、ゆったり、よろしくお願ひします。それでは、6月までの予定をお知らせします。

5 月	8 日 (木) ミニ脳トレ・健康体操	20 日 (火) 手 芸
6 月	3 日 (火) ※ パークゴルフ	19 日 (木) ミニ脳トレ・健康体操

※6月3日(火)の「パークゴルフ」は、**事前に参加申込みが必要**です(受付期間:5月7日~23日)。ご自分の道具をお持ちの方は、ご持参ください。なお、雨天時は「あいくる」内でゲーム等をします。

木曜日のサロン

火曜日のサロン

10:00~
10:10~
11:00~
12:00~
13:00~
14:00~
15:00

○○○ ぼちぼち集合 ○○○	
ミニ脳トレ	その日の企画
自由時間①	
○○○○○ 昼 食 ○○○○	
健康体操	自由時間
自由時間②	
○○○○○ 終 了 ○○○○	

10時から3時までのサロンの流れは ← のとおりです。時間内の出入りは自由です。ご都合の良い時間にお越し下さい。

参加料は
10時~12時:100円
13時~15時:100円 です。

自由時間:カラオケ、ゲーム、おしゃべり等、自由にお過ごしください。
昼食は各自でご用意下さい。「あいくる」内に軽食コーナーもあります。

サロンの火曜日は企画の日。午前中の2時間、手芸やDVD鑑賞会などじっくり時間をかけて楽しんでいます。昨年はビーズ手芸や切り絵、また毎年恒例の絵手紙やゲーム大会などを実施しました。おしゃべりしながら賑やかに、時には静かに集中したりと参加者のみなさんにも盛り上げていただきました。

木曜日のミニ脳トレと健康体操もすっかり定着しましたね。7年目になる今年も、ほどよく頭をほぐしてくれる問題(という名の遊び)をたくさん探したいです。毎回恒例の「まちがい探し」は、今年も新しい問題をドンドン出します!楽しいけれどあとひとつがわからない!というあのムズムズした感じ。どうぞ、癖になってください。

健康体操では、Eボールというピンク色のスポンジボールが流行りました。マイボールを購入された方がたくさんいらっしゃいましたね。今年も何か人気のメニューが出現するのでしょうか。

火曜日から引越してきたお習字ですが、今年度もぜひ企画したいと思います。



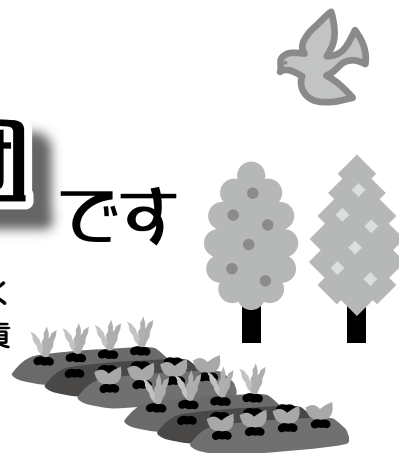
本年度の「ひだまりサロン」は赤い羽根共同募金の助成金を活用し、運営されています。

社会福祉協議会と机を向かい合わせて活動している団体を紹介します！
時にはお互いに助け合いながら日々の仕事をこなしている、頼もしい
パートナーです。



こんにちは！南幌町 高齢者事業団 です

高齢者事業団は、会員が持つ過去に培われた経験と技術を活用し、働く
ことを通じて仲間づくりや健康の維持、活力ある地域社会の活性化に貢
献することを目的とした団体です。



お仕事、お待ちしております！

事業団では、春の雪解けとともに仕事が始まり、草取り、草刈、庭木剪定、冬は簡単な除雪等々、
四季の移ろいとともに様々なお仕事をいただいています。
「家具を動かしたいけれど、ちょっと自分ではできない」というような小さなお仕事ひとつから、
会員が張り切ってお伺いします。

会員募集！

ご自分の特技をいかしてお仕事してみませんか？

たとえば庭木の剪定や賞状の筆耕といった技術などをお持ちの皆様、ぜひお声をかけて下さい。
体力自慢、力自慢の方も大歓迎！毎年のお雪を乗り切ることができるのも、たくましい会員の皆様
のおかげです。

会員になっていただけるのは…

- ・南幌町にお住まいのおおむね60歳以上の方
- ・ご入会時に年会費1,000円をいただきます

お申込・お問合せは



お仕事の内容や料金の相談、会員登録に関する詳細等、どうぞお気軽にお問合せください。
事務所は保健福祉総合センター「あいくる」内にあります。お電話もお待ちしています！



☎ 378-2088
(社会福祉協議会と共通)

事業団
におまかせ
ください！



社協役員紹介

社協事業向上のためにがんばりますのでよろしくお願いいたします。

理事・監事

役職名	氏名	推薦団体
会長	小友 征之	学識経験者
副会長	常井 昭人	学識経験者
副会長	岩野 博子	民生委員代表
常務理事	柿崎 納	町行政担当者
理事	葛西 敏信	老人クラブ連合会代表
理事	瀬川 サダ子	ボランティア活動団体連絡会代表
理事	山下 孝二	社会福祉施設代表
理事	佐藤 正幸	保護司・人権擁護委員代表
理事	三歩 スミ子	身体障害者福祉協会代表
理事	田中 玲子	社会教育審議会代表
理事	高田 栄子	南幌町婦人会代表
監事	今藤 和明	体育協会代表
監事	三上 英俊	住民代表

評議員

区分	氏名	区分	氏名
三重自治区	土井 弘一	第 15 区	谷内 勝
青葉自治区	熊木 喜美夫	中樹林自治区	高島 茂和
第 6 区	星 政人	西町町内会	仁木 耕一
第 7 区	白倉 敏美	北町町内会	磯野 薫
第 8 区	今井 誠一郎	中央町内会	村松 武司
第 9 区	岡 真一	緑町町内会	堀 仁美
第 10 区	堀米 賢一	東町町内会	佐藤 鶴子
第 11 区	佐藤 雄二	南幌町手をつなぐ育成会	中村 達子
稲穂町内会	豊田 隆秀	南幌町商工会 青年部・女性部	高松 弘子
第 12 区	池岡 信行	JA なんぼろ 青年部・女性部 青年団体協議会	縄 貴洋
第 13 区	山形 義文		
第 14 区	宮内 重信	南幌ライオンズクラブ	本間 秀正

平成26年度 社協職員体制

事務局長 段坂 正登士
 事務主査 本田 正人 (町職員)
 書記 佐藤 晴美
 臨時事務員 鶴見 あき

今年度もよろしくお願いいたします

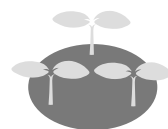


南幌町社会福祉協議会では月に1回、簡単な作業のお手伝いをお願いできるボランティアさんを募集しています

「なにかボランティアをはじめてみたいけれどどこに聞いたらいいかわからない」
 「外に出るきっかけが欲しい」
 「社会福祉協議会ってどんなところ？」
 「町内のボランティア活動はどんなことをしているの？」

そんな方、大歓迎です
 作業内容は、楽しくおしゃべりしながらできるごく簡単なものです
 (お寄せいただいたリングプルの発送準備など)
 日程は、毎月20日～31日の間の1日を予定しています

はじめてみませんか？
 小さなボランティア



詳細は
 社会福祉協議会に
 お問い合わせ下さい

弁護士による 無料法律相談会

毎週金曜日

開催中

毎月	会場	お問合せ・お申込み	平成26年9月までの 南幌会場 開催予定日	
第1金曜日	長沼町 長沼町社会福祉協議会	長沼町社会福祉協議会 0123 - 82 - 5040	26年 5月	23日
第2金曜日	由仁町 健康元気づくり館 「げんき館」	由仁町社会福祉協議会 0123 - 82 - 2167	6月	27日
第3 / 第5金曜日	栗山町 総合福祉センター 「しゃるる」	栗山町社会福祉協議会 0123 - 72 - 1322	7月	25日
第4金曜日	南幌町 保健福祉総合センター 「あいくる」	南幌町社会福祉協議会 011 - 378 - 2088	8月	22日
			9月	26日

開催時間は午後1時から4時まで、完全予約制で行っています。相談時間はお1人約30分です。開催日当日までご予約を付けておりますので、お申し込みは **開催場所の社会福祉協議会まで** お電話ください。

南幌会場では毎月何件ものお申し込みをいただいています。利用ご希望の方は、早めの予約をお願いします。

離婚、借金、高齢になった家族の財産管理、遺言の方法など、今、お悩みはありませんか？

自分が行きやすい会場を選んで、より気軽に弁護士さんにご相談いただけます。まずは、そのお悩みを話してみませんか？



祝 南幌町身体障害者福祉協会 創立50周年記念

2月20日（木）あいくるにて「南幌町身体障害者福祉協会 創立50周年記念式典・祝賀会」が開催され、50周年という節目を会員と関係者でお祝いしました。

式典では、南幌町身体障害者福祉協会 熊木喜美夫会長より、会の発展に功績のあった方々へ表彰状と感謝状が贈られました。その後の祝賀会では、会員が次々とカラオケで自慢ののどを披露し、終始和やかな雰囲気の中に終了となりました。

<南幌町身体障害者福祉協会会長表彰> (敬称略 50音順)

表彰 (8名)：新井節子・太田一男・木本博司・斉藤スエ・三歩スミ子・袴田利雄・山田耕造・湯浅富美子

感謝状 (6名)：岡川春重・小林忠勝・斉藤元二・柴田政子・田邊和子・渡邊貞子

南幌町身体障害者福祉協会は、身体に障がいを持つみんなが明るく楽しく張りのある生活を送ろうと交流を深めてきました。いつでも新入会員大歓迎です。障がいのある方はもちろん、会を支えて下さる賛助会員も募集しています。詳細は社会福祉協議会にお問合せ下さい。

◆年会費

正会員 (障害者手帳をお持ちの方) …… 2,000円

賛助会員 …… 1,000円

◆主な活動

管内身障福祉大会参加 町福祉スポーツ大会参加
月に1回程度の会員交流会 花見・旅行・新年会

町内のイベント等でフリマ出店



心温まるご厚志ありがとうございました

(平成 26 年 1 月～ 3 月受付分)

月	日	住 所	寄 附 内 容
1 月	14 日	8 区	坂井隆 様より 亡父 (清さん) の香典返しにかえて
	15 日	1 2 区	新井トシ 様より 亡夫 (虎雄さん) の香典返しにかえて
	20 日	東 町	平野義幸 様より 亡母 (ヨス子さん) の香典返しにかえて
	27 日	1 2 区	佐藤博 様より 亡母 (キヨイさん) の香典返しにかえて
	31 日	1 1 区	門脇信雄 様より 亡妻 (スエ子さん) の香典返しにかえて
2 月	4 日	西 町	小川照秋 様より 亡妻 (みつるさん) の香典返しにかえて
	10 日	1 4 区	吉井照男 様より 亡母 (ふみさん) の香典返しにかえて
	24 日	町 内	南幌町身体障害者福祉協会 様より 創立 50 周年記念事業に伴う寄付
	25 日	1 4 区	小野塚大蔵 様より 亡妻 (サヨコさん) の香典返しにかえて
3 月	3 日	1 5 区	山本春彦 様より 亡父 (春夫さん) の香典返しにかえて
	5 日	1 4 区	渡邊俊子 様より 亡夫 (洋輔さん) の香典返しにかえて
	7 日	町 内	三基開発株式会社 様より 社会福祉振興のために
	17 日	町 内	南幌中学校 3 年 B 組 様より 社会福祉振興のために
	17 日	1 1 区	山本政一 様より 亡母 (ヲリキさん) の香典返しにかえて
	19 日	1 1 区	津田きみゑ 様より 亡夫 (力松さん) の香典返しにかえて
	19 日	9 区	中山照子 様より 亡夫 (昇さん) の香典返しにかえて
	24 日	中樹林	中村悟 様より 亡母 (久美さん) の香典返しにかえて
	24 日	1 5 区	馬場二三子 様より 社会福祉振興のために
	25 日	町 内	南幌町手をつなぐ育成会 様より 社会福祉振興のために

月	住 所	寄贈者氏名	月	住 所	寄贈者氏名	月	住 所	寄贈者氏名
◆リングブル			◆リングブル			◆古切手		
1 月	6 区	石川幸子 様	3 月	稲 穂	石川幸子 様	1 月	西 町	高橋祐子 様
	緑 町	平川洋子 様		西 町	西町みどり 様		15 区	馬場三男 様
	北 町	田村アキエ 様		中樹林	鍋山ミツ子 様		緑 町	小笠原真知子 様
	緑 町	小笠原真知子 様		町 内	南幌町環境衛生組合 組合長 佐藤秀雄 様	2 月	町 内	南幌手話サークル「きらら」様
	町 内	空知パブリックメンテナンス (株) 南幌営業所 様		町 内	北海道南幌養護学校 中学部 様	6 区	林隆男 様	
	三 重	三上千恵子 様		町 内	北海道南幌養護学校 中学部 様	青 葉	木戸博昭 様	
	12 区	袴田利雄 様		12 区	袴田利雄 様	3 月	町 内	南幌町婦人会 様
	11 区	石崎恒子 様		北 町	市川秀子 様	町 内	三基開発(株) 様	
	2 月	三 重		三上千恵子 様	青 葉	白川修一 様	青 葉	山田京子 様
	町 内	南幌手話サークル「きらら」様		町 内	南幌町手をつなぐ育成会 様	15 区	馬場三男 様	
町 内	侑ハル 様	12 区	岡田清一 様	◆書き損じハガキ				
11 区	新井節子 様	西 町	千葉尊季 様	1 月	緑 町	小笠原真知子 様		
6 区	川北春夫 様	7 区	長谷川保 様	15 区	馬場三男 様			
町 内	南幌小学校児童会 様	9 区	田川ミワ子 様	2 月	町 内	南幌手話サークル「きらら」様		
西 町	岩本勲 様	◆タオル・雑巾			15 区	佐々木忠正 様		
三 重	川寄都子 様	3 月	北 町	戸谷文子 様	稲 穂	長沼正昭 様		
青 葉	木戸博昭 様	町 内	南幌町婦人会 様	14 区	竹内良泰 様			
3 月	北 町	戸谷文子 様	8 区	山下百合子 様	3 月	町 内	南幌町婦人会 様	
町 内	南幌町婦人会 様	◆紙おむつ			西 町	菅原史典 様		
14 区	小野塚卓蔵 様	3 月	11 区	門脇信雄 様	北 町	佐藤護 様		
三 重	三上千恵子 様							

～南幌高校除雪ボランティア～

2月25日(水) ボランティア指定校に指定されている南幌高校の生徒50名と教員6名が、柳陽団地内の高齢者用住宅(4棟20戸)で除雪ボランティア活動を行いました。

この取り組みも8年目となり、当日は晴天に恵まれ、生徒たちは汗をかきながらも笑顔でベランダに屋根まで届くほど高く積もった雪の除雪を一生懸命行っていました。入居者からは「日差しが入るようになり、明るくなりました」などの感謝の言葉をいただきました。

南幌高校ではボランティア活動に積極的に取り組んでおり、たくさんの生徒が地域を支えています。

